

# 施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 施策の目的等

施策名	022	生物多様性の保護と回復			
総合計画	基本目標 II	緑とともに暮らせる 快適で安全安心なまち（生活・環境）		主担当部課名	生活環境部 環境政策課
	基本施策 01	緑と生きものを育むまちづくりの推進			
めざす姿	自然と人間が調和し、生物多様性による日々の恵みを受け続けることができる、自然と共生した社会の実現のためには、生き物とその生息環境を守る行動を起こさなければならないことを全ての市民が理解し、環境保全に係る取組を行っています。				
SDGsとの関連					

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	12,906,000	11,710,000	12,228,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	425,000	0	0			
市債	0	0	0			
その他	306,000	827,000	870,000			
一般財源	12,175,000	10,883,000	11,358,000			
予算現額	12,906,000	11,710,000	0			
決算額	10,714,928	10,859,564	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	235,800	0	0			
市債	0	0	0			
その他	1,056,476	921,500	0			
一般財源	9,422,652	9,938,064	0			
執行率	83.0	92.7	0.0			
<b>(人件費)</b>						
職員数	2.96	4.53	0.00			
職員人件費	23,191,029	36,236,924	0			
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	215,699	518,835	0			
総コスト	34,121,656	47,615,323	0			

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 生物多様性の意味を知っている市民の割合	33.7	実績	51	-	-	37
	%	達成率	137.8	0.0	0.0	
② 小中学生に対する自然環境教育の実施件数	14	実績	12	-	-	20
	回	達成率	60.0	0.0	0.0	
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

## 指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	2022年に生物多様性の保全と利用に関する新たな世界目標「昆明・モンテリオール生物多様性枠組み」が採択され、国や都においても新たな生物多様性戦略が策定されるなど、生物多様性に関する取組は急速に加速してきており、市民理解も急速に普及し始めている現状にある。	評価	目標以上に進んだ
国・都の政策	国においては「昆明・モンテリオール生物多様性枠組み」をふまえた新たな国家戦略を令和4年度中に策定する予定であり、東京都においても国家戦略をふまえた東京都地域戦略をまもなく策定する予定である。	社会における近年の急速な環境意識の普及に比例し、市民の生物多様性に関する認知もこれまでにない普及が進んでいると思われる。	
市民ニーズ	生物多様性は市民一人一人の生活に直結する問題でありながら、市民の認知は低調であったが、近年はメディアなど、持続可能な社会の実現の一側面として、生物多様性が取り上げられる機会も増えてきたことにより市民の認知は進みつつある。		

## 4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	生物多様性地域戦略推進事業		主担当部課名	生活環境部 環境政策課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① アライグマ・ハクビシン捕獲駆除件数	22	計画値	24	26	28	30	30	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	28	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		市民へのPRの充実を図ったことにより捕獲器の設置数が大幅に増加し、また捕獲器設置後の使用者へのフォローアップも改善したこと等により、捕獲数の増加につながったと考えている。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称	自然環境保全活動促進事業		主担当部課名	生活環境部 環境政策課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 小中学生に対する自然環境教育の実施件数	14	計画値	14	16	18	20	20	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	12	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		小学校の総合的な学習の時間の支援依頼が想定より少なかった。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称			主担当部課名				事業種別								
次年度における事業の位置づけ															
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

## 5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	自然体験イベント、講演会、環境教育事業などを通じて、市民が生物や自然環境に関心を持ち、生物多様性の問題に対して認識を深める機会を提供することができた。			
今後の展開	取組の内容をブラッシュアップし、より多くの市民に働きかけていく事業を展開する。			

## 4年間の総合評価

評価	
実績	
今後の展開	

## 6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
多岐にわたる生物多様性に係る活動の実施や、活動団体における次世代の担い手の育成に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
生物・生態系の調査、生物の生育・生息環境の保全、外来生物の防除など、地域の生物多様性保全の推進に係る事業全般について、市民や市民団体、事業者等との協働により、市や一部の市民団体等のみによる取組では困難な市内全域を対象とした連続的な取組の展開や、より効果的、効率的な手法の導入を図りたい。また、世代を超えて生物多様性の保全を持続していくため、取組をリードする人材の発掘、育成についても、環境保全団体や大学等の教育・研究機関など多様な主体との連携により推進していきたい。	次期府中市環境基本計画の策定に向けて、同計画に含まれる次期府中市生物多様性地域戦略において、多様な主体との協働により生物多様性保全の推進を図る具体的な取組について、内容や課題の整理を行う。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
市内における生物調査、環境保全活動について、市民や市民団体、研究機関などとの協働により実施した。	協働により実施した(4、5に該当しないもの)	広域な問題に対処するため、多くの市民との連携を生み出し、効果的な事業展開を図っていく。

# 施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 施策の目的等

施策名	023	公園緑地等の活用促進
総合計画	基本目標 II 基本施策 01	緑とともに暮らせる 快適で安全安心なまち（生活・環境） 緑と生きものを育むまちづくりの推進
めざす姿	多様なニーズに対応した公園が安心・安全に利用できる環境が整っており、様-な主体が協働しながら緑のまちづくりに取り組んでいます。	
SDGsとの関連	 	

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	1,206,197,000	1,409,430,000	1,414,669,000			
国庫支出金	9,900,000	26,000,000	32,000,000			
都支出金	26,000,000	24,000,000	24,905,000			
市債	0	0	0			
その他	219,486,000	382,807,000	352,371,000			
一般財源	950,811,000	976,623,000	1,005,393,000			
予算現額	1,141,945,000	1,432,682,000	0			
決算額	1,126,522,416	1,385,232,227	0			
国庫支出金	10,000,000	26,000,000	0			
都支出金	37,785,000	17,365,000	0			
市債	0	0	0			
その他	204,922,276	336,684,345	0			
一般財源	873,815,140	1,005,182,882	0			
執行率	98.6	96.7	0.0			
<b>(人件費)</b>						
職員数	16.70	13.00	0.00			
職員人件費	130,841,277	103,991,173	0			
月額制会計年度任用職員数	2.00	3.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	6,497,384	9,654,348	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	4,476,219	3,178,587	0			
総コスト	1,268,337,296	1,502,056,335	0			

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度	68.9 %	実績 70.4 達成率 93.7	- 0.0	- 0.0	- 0.0	75.1
② インフラ管理ボランティアの長期登録者数	38 団体	実績 65 達成率 141.3	- 0.0	- 0.0	- 0.0	46
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

## 指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	公園を取り巻く社会や市民意識の変化が進み、公園に求められる役割とサービスが多様化する中で、公園の整備と維持管理にも増して、市民・事業者のニーズを考慮した公園の利活用を進めることが必要となってきた。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	都では、緑確保の総合的な方針において、施策の推進に当たっては、都民、NPO、企業等と連携し、緑を地域の資産として将来に引き継いでいくことを目指して取り組むこととしています。	インフラ管理ボランティア制度をより使いやすいように見直したことにより、登録者数が増加傾向を示している。	
市民ニーズ	公園での花壇管理などのニーズは多い。		

## 4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	公園緑地等維持管理事業		担当部署課名	都市整備部 公園緑地課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									A							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度	68.9	計画値	67.7	70.1	72.6	75.1	75.1	1	2	3	4	5	6	7	8	
	%	実績	70.4	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
要因の具体的内容		令和4年度総合計画に関する市民意識調査において評価されたため。														
② インフラ管理ボランティアの長期登録者数	38	計画値	42	44	45	46	46	要因の種類(※)								
	団体	実績	65	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
要因の具体的内容		制度をより使いやすいたくに見直したことにより、登録者数が増加傾向を示している。														
事務事業名称	公園緑地等整備事業		担当部署課名	都市整備部 公園緑地課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 市民一人あたりの都市公園面積	6.93	計画値	6.94	6.95	6.96	6.97	6.97	1	2	3	4	5	6	7	8	
	m <sup>2</sup>	実績	6.93	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
要因の具体的内容		都市公園の面積、人口とも大きな変動が無いため。														
		計画値						要因の種類(※)								
要因の具体的内容																
事務事業名称			担当部署課名					事業種別								
次年度における事業の位置づけ																
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																
		計画値						要因の種類(※)								
要因の具体的内容																

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

## 5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	公園・緑地等の適切な維持管理を行った。また、指定管理者制度の導入のため、事業者を決定した。インフラ管理ボランティア制度の推進や、市民協働事業であるコミュニティガーデン講座の実施を通じて、市民との協働による公園管理を進めた。安心・安全な公園づくりとして、公園・緑道等の整備を行った。また、公園施設長寿命化計画に基づき遊具等の更新を行った。			
今後の展開	公園・緑地等の適切な維持管理を行う。また、指定管理者制度の適切な運用を進める。インフラ管理ボランティア制度の推進や、市民協働事業であるコミュニティガーデン講座の実施を通じて、市民との協働による公園管理を進める。安心・安全な公園づくりとして、公園・緑道等の整備を行う。また、公園施設長寿命化計画に基づき遊具等の更新を行う。			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

## 6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
より快適に利用できるための公園の維持管理に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
より快適に利用できるための公園の維持管理に関することを協働により推進することを想定している。 ・公園内の花壇を活用するコミュニティガーデン事業を実施し、公園の活性化と地域コミュニティの醸成を図る。 ・貴重な自然の残る緑地等において、生物多様性の保全のため、植生管理の方針を維持管理や環境保全の活動をしている市民と共有し、植生管理に協働して取り組む。 ・公園清掃等のボランティア活動に対し、継続して支援を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園内の清掃、花壇の植付などの活動に対して支援を行う。</li> <li>行政提案型協働事業として、コミュニティガーデン講座を実施する。</li> <li>武蔵台緑地において、ガイドラインに基づく植生管理を、武蔵台緑地保全ボランティアの方々と協働で行う。</li> <li>府中崖線西府町緑地、四谷樹林地周辺の緑地において、ボランティア団体と協働して植生管理を行う。</li> </ul>	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>公園内の清掃、花壇の植付などの活動に対して支援を行った。</li> <li>行政提案型協働事業として、コミュニティガーデン講座を行った。</li> <li>武蔵台緑地において、ガイドラインに基づく植生管理を、武蔵台緑地保全ボランティアの方々と協働で行った。</li> <li>府中崖線西府町緑地、四谷樹林地周辺の緑地において、ボランティア団体と協働して植生管理を行った。</li> </ul>	協働による相乗効果を得ることができ、その効果を市民に還元することができた	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園内の清掃、花壇の植付などの活動に対して支援を行う。</li> <li>行政提案型協働事業として、コミュニティガーデン講座を実施する。</li> <li>武蔵台緑地において、ガイドラインに基づく植生管理を、武蔵台緑地保全ボランティアの方々と協働で行う。</li> <li>府中崖線西府町緑地、四谷樹林地周辺の緑地において、ボランティア団体と協働して植生管理を行う。</li> </ul>